

# 鳥取県

## 学校給食会だより



1月号 (No.219)

(公財) 鳥取県学校給食会  
鳥取市安長字前内387-1  
(TEL) 0857-23-7084  
(FAX) 0857-27-8040

令和2年1月10日 文責：植野京子  
HPアドレス：http://www.togk.or.jp E-mail:kenkyu@togk.or.jp

新しい年を迎えました。新しい年も健康で有意義な一年を過ごしたいものです。今年も給食だよりを通じてさまざまな食に関する情報を伝えていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

本会では、県内における学校給食の発展充実のため『全国学校給食研究協議大会』への派遣事業を行っています。今年度は、日野町立根雨小学校 栄養教諭 坂井恭子氏を派遣し、大会の報告をいただきましたので掲載させていただきます。

### 食と健康の伝言板 NO.87

日野町立根雨小学校 栄養教諭 坂井恭子氏

#### 第70回全国学校給食研究協議大会参加報告書

期日 令和元年11月7日(木)・8日(金)  
会場 岡山コンベンションセンター



#### 第1日目 開会式、文部科学大臣表彰表彰式、文部科学省説明、シンポジウム、特別講演

第1日目の全体会では、まず、文部科学省より「学校における食育の推進及び学校給食の充実」として、①栄養教諭を核にした食育の推進②学校給食における適切な衛生管理③学校給食費の公会計化④災害時の学校給食実施体制の構築について説明がありました。続いて、平成28年に起きた熊本地震で被災された熊本県益城町教育委員会防災担当 柴田敏博氏から被災時の状況や給食再開に向けての取組、危機管理の必要性についての話がありました。次に、「子どもたちの望ましい食習慣の形成を目指して」をテーマにシンポジウムが行われました。岡山県の減塩献立の工夫についてや、総社市の学校ごとのエネルギー推定必要量を基にした栄養管理についての実践報告とディスカッションがありました。シンポジストの一人中村丁次氏からは、現代の日本では、高齢者・思春期女子のやせ、中年層男性の肥満が問題となっている。特に、思春期女子のやせは、次世代の健康にも関わってくることを忘れて欲しいという話がありました。全体会最後は、「子どもの口はふしぎがいっぱい」と題し、歯学博士 岡崎好秀氏の特別講演がありました。岡崎氏は、食べ物が変われば、口の中が変わる一柔らかいものを食べると、歯周病が増える。と現代の食生活における食べ方の問題を指摘されました。講演を聞き、改めてよく噛んで食べることの大切さを痛感しました。

#### 第2日目 分科会「学校給食における衛生管理及び危機管理」

第2日目の分科会では、「可視化で取り組むリスクマネジメント」として鳥取市立湖東学校給食センター 学校栄養主任 徳尾智恵先生他2名の先生の研究発表がありました。衛生管理の問題点をデータ等にまとめることで見える化を図り、調理員と問題を共有しながら改善に向けて取り組まれた実践例は、とても参考になりました。指導助言の先生からも、データの見える化を図り、全職員が共通理解のもと衛生管理を行うことは大切であるとの話がありました。続いて、国立感染症研究所感染症易学センター 砂川富正氏から、安全かつ安心な食材選定についてと、危機管理を徹底するための方策についての講義がありました。今回の研究大会に参加させていただき、たくさんの実践を聞き、大変勉強になりました。今回学んだことを今後の職務に活かしていきたいと思ひます。



### 令和元年度 文部科学大臣表彰受賞

琴浦町立浦安小学校 栄養教諭 萬 かおり氏

11月7日、岡山県で行われた第70回全国学校給食研究協議大会の会場で表彰式があり、令和元年度学校給食表彰で、萬 かおり栄養教諭が学校給食功労者として文部科学大臣より表彰されました。おめでとうございます。



1月24日  
~30日

## 全国学校給食週間

#### \* 学校給食のはじまりと全国学校給食週間とは…

その始まりは明治22年、山形県鶴岡町(現在は鶴岡市)の小学校で始まりました。当時は家庭が貧しくお弁当を持ってこられない子どもたちのために簡単な食事が提供されていました。給食はその後、全国で実施されるようになりましたが、戦争による食料不足で中止されました。

戦争が終わり、子どもたちの栄養不足を改善するために、外国などからの援助で給食が再開されました。昭和21年12月24日に新しい学校給食が始まったことから、この日を「学校給食記念日」としましたが、冬休みに入ってしまうため、1ヶ月後の1月24日からの1週間で『全国学校給食週間』とすることが決まりました。

#### \* 学校給食の役割について

子どもたちの栄養を改善するために始まった給食ですが、日本が豊かになると、偏った栄養摂取をはじめ、肥満や生活習慣病の増加など、食生活の乱れなどが問題になってきました。それを改善するために、バランスの良い食事のお手本として、学校給食は食に関する正しい知識と望ましい食生活を身につけるためのさまざまなことを学ぶ“生きた教材”としての役割を担っています。これを機に、学校給食の意義や役割について理解を深め、関心を高めましょう。

\* 県内の給食センター・共同調理場で行われる給食週間の取り組みは、2月号でご紹介させていただきます。



お知らせ

#### 新規見積記載物資の再選定結果について

令和元年度第一回物資委員会、令和二年度新規見積記載物資選定において再選定品として保留となりました下記物資につきまして、再選定の結果、新規見積記載物資として物資委員の皆様より承認いただきましたのでご紹介いたします。

~対象品~

| 分類 | 品名                    | メーカー                    | 規格 | 単位 |
|----|-----------------------|-------------------------|----|----|
| 常温 | 梨&らっきょうドレッシング(白味噌)業務用 | 販売(有)田畑商店<br>製造(有)関西フーズ | 1L | 本  |
| 常温 | 梨&らっきょうドレッシング(塩)業務用   | 販売(有)田畑商店<br>製造(有)関西フーズ | 1L | 本  |

\* 尚、その他新規見積記載物資につきましては、令和元年度「鳥取県学校給食会だより10月号」にてご紹介させていただいております。また、上記の食材につきましては、給食会までお問合せくださいますようお願い致します。





# 令和元年度お米を使った朝食献立コンクール開催



令和元年12月14日(土)「お米を使った朝食献立コンクール」を倉吉市の鳥取短期大学にて開催しました。このコンクールは「お米を使った朝食」と「地場産物」について意識を高め、生活のリズムを整えることの大切さ及び地場産物の良さを啓発するために開催しています。今年度は69組の応募があり、その中から一次書類審査通過の6組が本選出場となりました。実際に調理を行い、7名の審査員の方に審査をしていただきました。たくさんの応募作品の中から選ばれた6組の作品を献立と共にご紹介させていただきます。



## 最優秀賞 **えいようまんてん ごはん**



- 【献立】
- ・おにぎり(枝豆・ちりめん)
  - ・スクランブルエッグ(たまご・ウインナー)
  - ・ブロッコリーとにんじんのおかかあえ(ブロッコリー・にんじん・塩こんぶ・ごま油)
  - ・みそ汁・かき

南部町立西伯小学校  
梶原美桜さん(5年)  
梶原陽子さん(保護者)チーム



## 優秀賞 **地元の食材をふんだんに使った毎日食べたくなる朝ごはん**



- 【献立】
- ・ごはん・魚・チーズちくわ
  - ・きゅうりちくわ・たまご焼き
  - ・トマト・きんぴらごぼう
  - ・ひじき・ほうれんそうのごまあえ
  - ・おみそ汁・浅づけ・ヨーグルト
  - ・なっとう・梅ぼし

倉吉市立上灘小学校  
甲斐幸芽さん(5年)  
甲斐 愛さん(保護者)チーム



## 優秀賞 **色とりどりにしておいしくする**



【献立】・三色どん・みそ汁

倉吉市立上灘小学校  
山口裕也さん(5年)  
山口絢子さん(保護者)チーム



## 優良賞 **栄養たっぷり元気ごはん**



- 【献立】
- ・ココット・ブロッコリー
  - ・ウインナー・なめこ汁
  - ・おにぎり

南部町立西伯小学校  
恩澤日和さん(5年)  
恩澤美和子さん(保護者)チーム



## 優良賞 **栄養満点ぼくの朝ごはん**



- 【献立】
- ・ごはん・なすのみそ汁
  - ・野菜・ウインナー
  - ・たまご

倉吉市立上灘小学校  
山柁勇貴さん(5年)  
山柁愛子さん(保護者)チーム



## 優良賞 **和洋折衷の朝ごはん**



- 【献立】
- ・おにぎり・みそ汁
  - ・ウインナー・レタス
  - ・ゆで卵・梨

倉吉市立上灘小学校  
森 蒼佑さん(5年)  
森 知佳さん(保護者)チーム



今回の参加6組は、すべて親子ペアでした。参加された保護者の方々からは、「子どもと一緒に料理して、子どもの成長なども発見でき良い経験になった」「親子で貴重な体験をさせてもらった」などの感想をいただきました。本会は、これからもこのような事業を通じて、子どもたちの健やかな身体と心をはぐくむ支援を続けていきます。

